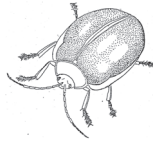


たんぽう



上郡町でチビアシナガサシガメ (Hemiptera: Reduviidae) を採集

大貝秀雄

チビアシナガサシガメ *Ploiaria zhengi* Cai et Yiliyar, 2002 はサシガメ科 Reduviidae に属し, 別族のカモドキサシガメ類と外見が似た微小な肉食性のカメムシで, 国内では栃木県 (石川・宮本, 2012), 愛知県 (石川・宮本, 2012, 大野・石川, 2021), 兵庫県 (長島, 2014, 菊田・長島, 2016), 大分県 (石川・宮本, 2012) と沖縄県 (名嘉・石川, 2020) から発見されているにすぎない稀な種である。

筆者は 2023 年 7 月 7 日に兵庫県上郡町野桑の白旗山登山路において, 本種 1 ♂ 2 ♀ を得ているので, 採集地環境の記述とあわせて報告する (図 1)。

採集地は平坦な登山コース沿いであって, 比較的明るく乾燥した斜面に生えた生木の根元付近の土が崩落して根が大きく露出しており, かつ根際の幹が腐朽してウロ



図 1: チビアシナガサシガメ♂.

ロのようになった箇所であった (図 2)。チビアシナガサシガメは, このウロを中心に殺虫用エアゾールを噴霧して落ちてきたものであり, その生活様式などは残念ながら観察することができなかった。なお, 同時に確認できた昆虫は少数のケシデオキノコムシ類のみであった。



図 2: 生息環境.

名嘉ら (2020) は本種が日中は樹洞などにひそみ休止して夜間に活動する可能性を示唆しており, 本報の例も生木のウロに隠れていた個体であったのかもしれない。

謝辞

引用文献を御教示いただいた東京農業大学の石川忠教授に深く感謝申しあげる。

○引用文献

- 石川忠・宮本正一, 2012. サシガメ科. 石川忠ら編. 日本原色カメムシ図鑑第 3 巻. 231-288. 全国農村教育協会, 東京.
- 菊田幸雄・長島聖大, 2016. チビアシナガサシガメの捕食観察例. *Rostria*, (59): 61-62.
- 長島聖大, 2014. チビアシナガサシガメの新産地. *Rostria*, (56): 27-28.
- 名嘉猛留・石川忠, 2020. チビアシナガサシガメ *Ploiaria zhengi* の琉球列島からの初記録. *Rostria*, (64): 74-75.
- 大野友豪・石川忠, 2021. チビアシナガサシガメの愛知県における採集記録と採集状況. *住香蝶*, 73(288): 126-127.

(Hideo OGAI 兵庫県上郡町)

兵庫県丹波篠山市でムネアカハラビロカマキリを確認

宇野宏樹

ムネアカハラビロカマキリ *Hierodula chinensis* は 2010 年に国内で初めて記録された外来種のカマキリの 1 種である (伊與田ほか, 2022; Yamasaki et al., 2022)。筆者は本種を記録が多くないと思われる兵庫県丹波篠山市で確認したので報告しておきたい。

1ex. (図 1・図 2), 兵庫県丹波篠山市草野付近. 2023 年 10 月 27 日. 筆者確認.

道に落ちていた個体を確認した。本種が兵庫県に定着しているのかは定かではないが, 今後の動向に注意が必要だと思われる。

○参考文献

- 愛知県, 2017. 平成 29 年度愛知県外来種調査結果の概要. https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/195505_473673_misc.pdf (2023 年 10 月閲覧)。